

2021年度 社会福祉法人立正たばな会における教育及び保育に関する全体的な計画

<p>教育及び保育理念</p>	<p>心と心がこころで出会い違い響きあう 大切にしよう「信じる心」 伝えよう「ありがとうの気持ち」 感じよう「つながる幸せ」 みんなが笑顔でいたいから 私たちの保育園は『心の居場所』であり続けます。</p> <p>一、私たちは、移ろいゆく豊かな自然環境の中で、子どもたちの感性を見つめます。 【感】 一、私たちは、笑顔でいられる幸せを感じながら、子どもたちとの関わりを大切にします。 【関】 一、私たちは、志高く、大切な仲間と信頼しあい、共に成長していきます。 【信】 一、私たちは、ひとりひとりを大切に、子どもたちの生きる力を育みます。 【生】 一、私たちは、いつもあなたのそばに寄り添い、支えあい、共に歩みます。 【歩】</p>			<p>保育教育の目標</p>	<p>1. 身体の丈夫な子ども 2. 友だちと仲よくあそび思いやりのある子ども 3. 粘り強く最後まで頑張る子ども 4. 人とかかわる力、聞力が育つ子ども</p>					
<p>教育及び保育方針</p>	<p>温かい人間関係のなかで愛情と専門的技術をもって安全と安心のための環境設営に充分意をはらい日常の保育・教育につとめる。</p>			<p>保育教育の方法</p>	<p>(乳児)3才未満児は、個々の成長発達に寄り添いながら保育を行う。 2歳児は後半より、異年齢移行に向けて小グループずつ西れんげに移る。 (幼児)3才以上児は、個々の生活環境に即したクラス編成を行う。 また、異年齢混合保育で園生活を送る中で、後半より就学に備えて、5才児は10時から15時単独の活動となるが、異年齢の特徴をより子ども達の成長に生かすため、15時以降は異年齢クラスでの生活となる。</p>					
<p>保育・教育の基本原則</p>	<p>保育園の社会的責任</p>	<p>保育・教育の環境</p>	<p>保育・教育の計画及び評価</p>	<p>幼児教育を行う保育園として共有すべき事項</p>						
<p>乳幼児期における保育・教育は、人格形成の基礎を築く重要なものであり、その健全な心身の発達を図ることを目的とし、子どもの最善の利益を考慮しながら園生活を通して、生きる力を育成するものとする。</p>	<p>(人権尊重) 子どもの人権に十分配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重して保育を行う。 (個人情報管理・事情処理等) 児童福祉施設としての役割を自覚し子育て家庭や地域に対し、保育園の役割を果たし地域社会に貢献する</p>	<p>(リボン保育園) 一人ひとりの個性を大切に、子供の成長に寄り添った5つの空間で成長を見守る。遊びのなかで好奇心をくすぐったり、少し難しいことにチャレンジしたり、少しずつ大きくなっていく過程を感じることでできる空間である。 (川西保育園) 異年齢児の集団を作ること兄弟姉妹のような関係を経験し、子ども同士のかわりによる自然な発達成長が生まれ豊かな人格形成の基礎が作られる。</p>	<p>(指導の計画) 具体的な計画・年間指導計画・月案・週案・日案 (保育教諭・保育士等の自己評価/保育園の自己評価) 事故チェックリストの実施と危機管理マニュアルの作成 ・障害のある園児の指導や小学校教育への円滑な接続に向けた教育及び保育内容等に配慮する。</p>	<p>1. 育みたい資質・能力 ・知識及び技能の基礎 ・思考力、判断力、表現力の基礎 ・学びに向かう力、人間性等 等ねらい及び内容に基づき保育活動全体によって育む。 2. 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 ・健康な心と体 ・自立心 ・協同性 ・道徳性 ・規範意識の芽生え ・社会生活との関わり ・思考力の芽生え ・自然との関わり ・生命尊重 ・数量や図形 ・標識や文字などへの関心 ・感覚 ・言葉による伝えあい ・豊かな感性と表現</p>						
<p>養護 (保育者の 援助・関わり)</p>	<p>年齢</p>	<p>乳児</p>	<p>1歳児</p>	<p>2歳児</p>	<p>3歳児</p>	<p>4歳児</p>	<p>5歳児</p>			
<p>生命の保持</p>	<p>(ねらい) 人への基本的信頼感が芽生える。 (内容) 一人ひとりの生活リズムが整うよう配慮される。</p>	<p>(ねらい) 安定した生活の中で、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 (内容) 自分でできることを喜び、身の回りのことを自分でしようとする。</p>	<p>(ねらい) 気候に応じて体調管理をする。 (内容) 生活や遊びの中で自我が育つ。</p>	<p>(ねらい) 運動機能が高まるようにする。 (内容) 基本的な生活習慣が身につく。</p>	<p>(ねらい) 自ら体調の変化に気付く。 (内容) 運動量が増し、活発に活動できるようになる。</p>	<p>(ねらい) 健康に関心を持ち、生活に必要な習慣を身につけられるようにする。 (内容) 病気と予防の関係が分かり、必要な生活習慣や態度を身に付ける。</p>	<p>(ねらい) 生活リズムに合わせた活動内容の調和を図り休息がとれるようにする。 (内容) 遊びや生活の中で、危険を招く事態がわかり、気を付けて行動する。</p>			
<p>情緒の安定</p>	<p>(ねらい) 保育士からの語りかけやふれあいを通じて愛されることを実感し喜びにつなげるようにする。 (内容) 発達過程などを的確に把握し応答的なふれあいや言葉かけを行う。</p>	<p>(ねらい) 保育士への甘えや依存の要求が満たされ情緒が安定する。 (内容) スキンシップにより、保育士との関わり心地よさや安心感を得る。</p>	<p>(ねらい) 子どもの気持ちを受容し共感しながら継続的な信頼関係を築いていく。 (内容) 保育士や友達と様々な遊びを楽しむ。</p>	<p>(ねらい) コミュニケーションを通して心の自立を育む。 (内容) 友達や年上の子どもと遊ぶことを楽しむ。</p>	<p>(ねらい) 多様な経験を通し自己肯定感を育み、自信や保育教諭への信頼を獲得できるようにする。 (内容) 生活の仕方が分かり、自分で考えて行動する。</p>	<p>(ねらい) 生活リズムに応じた活動内容の調和を図り休息がとれるようにする。 (内容) 遊びや生活の中で、危険を招く事態がわかり、気を付けて行動する。</p>	<p>(ねらい) 生活リズムに合わせた活動内容の調和を図り休息がとれるようにする。 (内容) 遊びや生活の中で、危険を招く事態がわかり、気を付けて行動する。</p>			
<p>教育 (保育者による 発達の援助)</p>	<p>3つの視点 (乳児)</p>	<p>乳児</p>	<p>5領域 (1歳以上3歳未満 満児)</p>	<p>1歳児</p>	<p>2歳児</p>	<p>5領域 (3歳以上児)</p>	<p>3歳児</p>	<p>4歳児</p>	<p>5歳児</p>	
<p>健康</p>	<p>(ねらい) 清潔になる事の心地よさを感じる。 (内容) 這う・歩く・くぐるなど活発な運動遊びを取り入れる。</p>	<p>(ねらい) 食事・排泄・着脱など生活に必要な基本的なことを自分でしようとする気持ちを持つ。 (内容) 生活の中で援助してもらいながら自分で出来たことに喜びを感じる。 歩いたり、走ったりがしかりして、動物の真似をして飛んだり跳ねたりする。</p>	<p>(ねらい) からだを十分に動かして遊ぶことを楽しむ。 (内容) 生活の中で援助してもらいながら自分で出来たことに喜びを感じる。</p>	<p>(ねらい) 健康 食事・排泄・着脱など生活に必要な基本的なことを自分でしようとする気持ちを持つ。 (内容) 生活の中で援助してもらいながら自分で出来たことに喜びを感じる。</p>	<p>(ねらい) 健康 食事・排泄・着脱など生活に必要な基本的なことを自分でしようとする気持ちを持つ。 (内容) 生活の中で援助してもらいながら自分で出来たことに喜びを感じる。</p>	<p>(ねらい) 健康 食事・排泄・着脱など生活に必要な基本的なことを自分でしようとする気持ちを持つ。 (内容) 生活の中で援助してもらいながら自分で出来たことに喜びを感じる。</p>	<p>(ねらい) 健康 食事・排泄・着脱など生活に必要な基本的なことを自分でしようとする気持ちを持つ。 (内容) 生活の中で援助してもらいながら自分で出来たことに喜びを感じる。</p>	<p>(ねらい) 健康 食事・排泄・着脱など生活に必要な基本的なことを自分でしようとする気持ちを持つ。 (内容) 生活の中で援助してもらいながら自分で出来たことに喜びを感じる。</p>	<p>(ねらい) 健康 食事・排泄・着脱など生活に必要な基本的なことを自分でしようとする気持ちを持つ。 (内容) 生活の中で援助してもらいながら自分で出来たことに喜びを感じる。</p>	<p>(ねらい) 健康 食事・排泄・着脱など生活に必要な基本的なことを自分でしようとする気持ちを持つ。 (内容) 生活の中で援助してもらいながら自分で出来たことに喜びを感じる。</p>
<p>人間関係</p>	<p>(ねらい) 保育士との良好な関係のもと、自分の思いを受け止めてもらえる安心感のなかで園生活を楽しくする。 (内容) 特定の保育士との関わりにより信頼関係が生まれる。</p>	<p>(ねらい) 保育士や友だちに関心を持ち真似をしたりして自ら関わろうとする。 (内容) 身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友達と関わって遊ぶ。</p>	<p>(ねらい) 遊びのイメージを広げ、友達とかかわって遊ぶ楽しさを知る。 (内容) 生活や遊びの中で順番を待つなどの決まりがあることに気づく。</p>	<p>(ねらい) 遊びのイメージを広げ、友達とかかわって遊ぶ楽しさを知る。 (内容) 生活や遊びの中で順番を待つなどの決まりがあることに気づく。</p>	<p>(ねらい) 人間関係 保育士や友だちに関心を持ち真似をしたりして自ら関わろうとする。 (内容) 身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友達と関わって遊ぶ。</p>	<p>(ねらい) 人間関係 保育士や友だちに関心を持ち真似をしたりして自ら関わろうとする。 (内容) 身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友達と関わって遊ぶ。</p>	<p>(ねらい) 人間関係 保育士や友だちに関心を持ち真似をしたりして自ら関わろうとする。 (内容) 身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友達と関わって遊ぶ。</p>	<p>(ねらい) 人間関係 保育士や友だちに関心を持ち真似をしたりして自ら関わろうとする。 (内容) 身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友達と関わって遊ぶ。</p>	<p>(ねらい) 人間関係 保育士や友だちに関心を持ち真似をしたりして自ら関わろうとする。 (内容) 身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友達と関わって遊ぶ。</p>	<p>(ねらい) 人間関係 保育士や友だちに関心を持ち真似をしたりして自ら関わろうとする。 (内容) 身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友達と関わって遊ぶ。</p>
<p>環境</p>	<p>(ねらい) 自然とふれあう中で好奇心や探求心が生まれてくる。 (内容) 戸外の遊びを通して、草花や虫に興味を持つ。</p>	<p>(ねらい) 自然とふれあう中で好奇心や探求心が生まれてくる。 (内容) 戸外の遊びを通して、草花や虫に興味を持つ。</p>	<p>(ねらい) 自然とふれあう中で好奇心や探求心が生まれてくる。 (内容) 戸外の遊びを通して、草花や虫に興味を持つ。</p>	<p>(ねらい) 自然とふれあう中で好奇心や探求心が生まれてくる。 (内容) 戸外の遊びを通して、草花や虫に興味を持つ。</p>	<p>(ねらい) 環境 自然とふれあう中で好奇心や探求心が生まれてくる。 (内容) 戸外の遊びを通して、草花や虫に興味を持つ。</p>	<p>(ねらい) 環境 自然とふれあう中で好奇心や探求心が生まれてくる。 (内容) 戸外の遊びを通して、草花や虫に興味を持つ。</p>	<p>(ねらい) 環境 自然とふれあう中で好奇心や探求心が生まれてくる。 (内容) 戸外の遊びを通して、草花や虫に興味を持つ。</p>	<p>(ねらい) 環境 自然とふれあう中で好奇心や探求心が生まれてくる。 (内容) 戸外の遊びを通して、草花や虫に興味を持つ。</p>	<p>(ねらい) 環境 自然とふれあう中で好奇心や探求心が生まれてくる。 (内容) 戸外の遊びを通して、草花や虫に興味を持つ。</p>	
<p>言葉</p>	<p>(ねらい) 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。 (内容) 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。</p>	<p>(ねらい) 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。 (内容) 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。</p>	<p>(ねらい) 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。 (内容) 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。</p>	<p>(ねらい) 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。 (内容) 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。</p>	<p>(ねらい) 言葉 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。 (内容) 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。</p>	<p>(ねらい) 言葉 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。 (内容) 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。</p>	<p>(ねらい) 言葉 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。 (内容) 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。</p>	<p>(ねらい) 言葉 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。 (内容) 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。</p>	<p>(ねらい) 言葉 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。 (内容) 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。</p>	
<p>表現</p>	<p>(ねらい) 保育士や友だちと遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。 (内容) 自分の思いを言葉や行動で表現できるようにする。</p>	<p>(ねらい) 保育士や友だちと遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。 (内容) 自分の思いを言葉や行動で表現できるようにする。</p>	<p>(ねらい) 保育士や友だちと遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。 (内容) 自分の思いを言葉や行動で表現できるようにする。</p>	<p>(ねらい) 保育士や友だちと遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。 (内容) 自分の思いを言葉や行動で表現できるようにする。</p>	<p>(ねらい) 表現 保育士や友だちと遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。 (内容) 自分の思いを言葉や行動で表現できるようにする。</p>	<p>(ねらい) 表現 保育士や友だちと遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。 (内容) 自分の思いを言葉や行動で表現できるようにする。</p>	<p>(ねらい) 表現 保育士や友だちと遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。 (内容) 自分の思いを言葉や行動で表現できるようにする。</p>	<p>(ねらい) 表現 保育士や友だちと遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。 (内容) 自分の思いを言葉や行動で表現できるようにする。</p>	<p>(ねらい) 表現 保育士や友だちと遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ。 (内容) 自分の思いを言葉や行動で表現できるようにする。</p>	
<p>保育をする際の配慮事項</p>	<p>・生活リズムの安定を図り、生理的・依存的欲求を満たし、生命の保持、生活・情緒の安定を図る。</p>	<p>・保育士に見守られながら過ごす中で、安心して自分の気持ちを表すことができるよう自我の芽生えを大切に育む。 ・安全な環境の中で、全身を使った遊びや探索活動を促す。</p>	<p>・保育士との安定した関わりの中で、生活に必要な身の回りのことを自分でしようとする一人ひとりのペースを尊重しながら、やる気を育てていく。 ・自己主張を促しやりたいことが十分できるような環境を工夫し、友達と遊ぶ楽しさを伝える。</p>	<p>・基本的生活習慣が身につくよう、できた時は褒めややる気を育てていく。 ・子どもの興味・関心を把握しておき、遊びからたくさん学ぶことができるように配慮する。</p>	<p>・様々な経験を通して、生活に必要な時間や態度が身につくようにする。 ・いろいろな遊びに興味を持ち、保育教諭や友達との関わりが広がるようにする。</p>	<p>・人とのつながりのなかで、心豊かな子どもを育てる。</p>				

幼児期の終わりまでに 育って欲しい姿 (各年齢で経験・ 体験すべき事項)	健康な心と体 (健康)	・保健的で安全な環境づくりをする。 ・一人ひとりの状態に応じて離乳食を開始し楽しい雰囲気の中で食べられるようにする。 ・一人ひとりの発達に合わせて関わり、歩行を促していく。	・苦手な食べ物も少しずつ口にできるように、言葉かけや、関わり方を考慮する。 ・一人ひとりの発達段階を把握して、安全に運動や活動ができるように環境や、関わり方に気を付ける。 ・活動が十分にできる環境での遊びを配慮する。	・一定の時間内に一定量食べられるように、苦手なものが後に残らないように言葉を使って関わりながらペースよく食べられるように促す。 ・排泄・排便をトイレでできるように励ましなが、できた時は十分褒めて進めていく。	・手・腕・足の力を把握しておき、音楽に合わせて、いろいろな総合遊具や用具を使った遊びに誘う。 ・楽しい食事の雰囲気を感じさせないように苦手な食べ物も少しずつ慣らしていく。	・描く・貼る・刺すなど、指先が自由に動くようになるので、活動に取り組んでいる時は見守り励ます。 ・音楽を聴いて、それに合わせて身体を動かすことができるように促す。	・出来ることもあきらめないで取り組めるように方法を知らせて励まし、自信に繋げていく。 ・ルールを伴った集団遊びを楽しむように、一人ひとり理解できるような話し合う。
	自立心 (人間関係)	・言葉をかけながら、一人ひとりゆったりと関わる。 ・言葉をかけたりあやしんだりしながら、安心して過ごせるようにする。	・一人ひとり興味を持っている遊びを把握して、環境づくりに配慮する。 ・遊びが十分に組み立てるように気を付け、ケガのないように見守る。	・自分でできることは手出ししないように見守りながら、できないことは方法を知らせてできたという実感が持てるように援助する。 ・言葉で自分の気持ちを表せるように促していく。	・子ども達の興味・関心を把握して、簡単な手伝いが出来るよう促し、できた時は十分に褒める。	・友達や保育教諭と言葉のやり取りが楽しめるよう関わりながら、一緒にあそびを楽しめるよう関わる。 ・子ども達の気持ちに気づき、言葉で表現できるように関わる。	・約束を守って行動することの大切さを知らせる。 ・最後までやり世ごとができるようにできないときは方法を知らせて励まし、言葉を掛けて励まし、あきらめないで取り組めるよう関わる。
	協同性 (人間関係)	・語りかけられることにより声を出したり答えようとする。 ・言葉をかけながら、一人ひとりゆったりと関わる。	・様々なことでたくさん褒めて、自信を持たせる。 ・友達との関わりを見守りながらも、けがのないようにする。 ・子どもが理解できる言葉かけに配慮する。	・少しの間なら待つことができるよう、理解できる言葉で知らせながら関わっていく。 ・玩具の貸し借りができるよう言葉を掛けて促す。	・子どもが興味を持てる集団遊びを取り入れて一緒に遊びながら、楽しめるように促す。 ・思いやりの気持ちを持つように、友達や年少児にはどんなふうに接すればいいかを気づかせたりしながら見守っていく。	・子ども達の気持ちに気づき、言葉で表現できるように関わる。 ・自分の気持ちだけでなく、相手にも気持ちがあることに気づかせて、関わり方を知らせていく。 ・無理なく行事に参加させて、役割を持って取り組めるよう、気づいて行動ができるように、関わる。	・約束を守り自制して行動することが、自分も周りの人も気持ちよく過ごせることに気づかせていく。 ・自分の周りにはどんな人がいるか、どんなことをしたらいけないのかを話し合い気づかせていく。
	道徳性・規範意識の芽生え (人間関係)	・保育士との信頼関係を大切にしながら安心して過ごすようにする。 ・たくさん言葉をかけて、十分な関わりを持つ。	・一人ひとりの欲求を把握して、満たしてあげるように、言葉をかけたり、関わり方を促す。 ・一人ひとりの心の成長に合わせて、いけないことはいけないことしかりたえていく。	・言葉や行動の手足を見せたりしながら、子どもと一緒に遊ぶを楽しむ。 ・感情の表現の手足を見せたり、一人ひとりの表現の仕方を十分に理解して認める。	・簡単な約束や決まりがわかり守ることができるように、ルールを守らないと、できなかったり、遊べないことを知らせていく。 ・遊んだ後は、片付けをしたら気持ちがいいことに気づかせたりして、進んで取り組めるように促す。	・良い悪いの区別がつくよう、どうしたらいいか考えられるように話し合ったりしながら関わる。 ・友達との生活や遊びのなかで決まりがあること、話の順番に気づかせていく。	・良い悪いを区別し、考えで行動できるよう、気づいていないときは、その都度言葉を掛けて知らせたり、話し合せて気づかせていく。
	社会生活との関わり (人間関係・環境)	・保育士との信頼関係を大切にしながら、泣いていない理由を把握して、欲求が満たされるように関わる。 ・手遊びや、リズム遊びを考慮して、成長に合わせた保育内容を考える。	・玩具の使い方を知らせながら、安全に遊びがたのしめるようにする。 ・無理なく行事に参加できるように、内容など十分考慮して、楽しく参加できるようにする。	・一人ひとりの欲求に気づいて満たし、安心して生活ができるようにする。 ・自分の気持ちを言葉や行動で表すことができるよう促す。 ・自分のものと他人のものとの違いを知らせる。	・無理なく行事に参加して、一緒に楽しんだりしながら、行事の楽しさを伝えていく。 ・高齢者や地域の人と触れ合う機会を持ち、いろいろな人と親しみを持てるように促す。	・共同のもの、自他のもとの区別ができるものを大切にすることに気づかせていく。 ・道具や用具を安全につかうことができるよう、危険な行為に気づかせて理解して行動ができるよう関わる。	・外国人など、自分とは異なる文化をもった様々な人に関心があるように促す。 ・規律ある生活ができるよう、今何をすべきなのかを気づかせて理解して行動ができるよう関わる。
	思考力の芽生え (環境)	・指や手を清潔に保ち、衛生面に気を付け、安全や空間づくりを心掛ける。 ・安全な、衛生面に気を付けてながら関わる。 ・一人ひとりの発達に合わせて関わる。	・安全な環境を用意し、一緒に遊びを楽しみながら、一人ひとりを見守る。 ・気の合う友達との関わりを持たせたり、遊びを通して友達と十分に関わるように言葉を掛けて促していく。	・一人ひとりの興味・関心を把握し、散歩や戸外遊びを通して身の回りのものに触れる機会を持つ。 ・指先を使う力がついているか、一人ひとり把握しながら、集中して遊びに取り組める環境づくりに心がける。	・身近な公共の施設や交通機関に関心が持てるよう促す。 ・身近な用具や器具の仕組みについて関心がもてるように、また保育教諭も質問に答えられるようにしておく。 ・親しい大人がしていることを手伝おうとする気持ちを大切に方法を知らせながら、できた時はしっかりと褒める。	・遊びの中で数に触れる機会を持ち、数の順番がわかってきたり、数の対応ができるよう、一緒に関わる。	・自分の意見だけでなく、友達の話もきちんと聞いて、受け止めて遊ぶことの大切さを知らせ、どう接したらいいか気づかせていく。
	自然との関わり・ 生命尊重 (環境)	・言葉をかけながら関わり、安心して抱かれていられるようにする。 ・授乳中も優しく言葉をかけながら関わる。 ・月齢に合わせた玩具を用意する。	・健康状態に合わせて、戸外での遊びが十分に楽しめるようにする。危険がないように安全面に十分気を付ける。	・自然界(光・水・砂・土など)を遊びの中で取り入れて触れたり関わって遊び、心地よさを感じるように促す。	・話したり知らせたりして、身近な動植物に関心が持てるようにし、関わり方や扱い方を知らせながら、見守る。 ・遊びの中に、子どもが興味を持って自然物(どんぐり・花石・砂など)を取り入れる。	・身近な動植物に触れる機会を作り、進んで関わろうとするよう促す。 ・季節があることに気づく機会を作り、生活のなかの違いを知らせ話し合うことができるように促す。	・大きく変わったことを意識して行動できるよう、どんなに成長したか話したり、成長したことを褒める。 ・安心して生活できるよう、子ども達の気持ちに気づいて関わり、環境に配慮する。
	数量や図形、標識や文字等への関心・感覚 (環境)	・玩具は消毒して衛生面に気を付けて、安全なものを用意する。 ・一人ひとりの興味のある玩具を把握し、安全に遊ぶことができるように、欲求が満たされるように促す。	・言葉を掛けながら、片付けを促したり、置き場所を知らせる。 ・おもちゃなどの色、形、数など、言葉を掛けながら違いに気づくよう促していく。	・身近な公園や施設に親しめるよう、ルールを守って遊ぶことができるよう見守る。 ・遊びの中で、色の違いや、形の違いに気づかせながら、言葉を掛けて知らせる。	・生活の中で簡単な数や順番が分かるように、気づかせたり教える。 ・遊びの中で、いろいろなものを集めたり分けたりして楽しむように促す。 ・遊びの、必要のないものを把握して、用意して関わる。	・子ども達の気持ちを把握して、標識や文字・記号に興味・関心が持てるように促す。 ・いろいろなものに形や位置があることを知らせる。 ・子ども達の気持ちを把握して、言葉で表現できるように促す。	・身近にある文字に興味や関心を持ち、伝える楽しさを味わい、積極的に使用することができるように子ども達の興味・関心のあるものを把握して関わる。 ・生活の中や遊びの中で、時刻や時間などに興味を持つよう、言葉を掛けて気づかせていく。
言葉による伝え合い (言葉)	・要求が満たされるように関わる。 ・一人ひとりの様子をきちんと把握する。 ・言葉をかけたり、あやしんだりしながら、一人ひとり十分なかわかりを持つ。 ・十分な関わりを持って、言葉を促していく。	・一人ひとりの言葉の発達の段階を把握して、言葉を掛けながら、2語文が出るように促していく。 ・「かして」「いいいよ」を言葉で掛けて、促していく。 ・してほしいことや困ったことを言葉で話せるよう促していく。	・保育士の言葉を理解して行動できるように、行動の手足を見せたり、言葉を掛けて気づかせていく。 ・自分の思いを言葉で言えるよう促し、言えた時は褒めて自信に繋げていく。	・友達や保育教諭などとの会話ややり取りが楽しめるよう関わりを持ち、理解できるように言葉の使い方に気を付ける。 ・子どもとの会話を大切にしながら、適切な言葉を知らせたり気づかせたりする。 ・親しみを持て日常の挨拶ができるよう、手足を見せる。	・「なぜ、どうして」の問いかけはしっかり聞いて応じていく。 ・子ども達の気持ちを十分に理解して、経験や思い、考えたことを自分なりに言葉で表現できるように促す。	・人の話は最後まできちんと聞くことの大切さを伝える。 ・見たこと聞いたことを上手に話すことができるように、子ども達の話をきちんと聞いて、答え、言葉を促す。	
豊かな感性と表現 (表現)	・安全な環境づくりに心がけ、十分に遊ぶことができるようにする。 ・月齢に合った絵本や保育教材を十分に用意する。 ・発達に合った運動や遊びを考慮して関わる。	・一人ひとりの興味があるものや、苦手なものを把握して、さまざまな経験ができるよう関わる。 ・一緒に遊ぶ中で、模倣する面白さや楽しさを知らせ、楽しんで遊ぶことができるように関わる。 ・好きな遊びが楽しめるよう環境づくりに関わりを配慮する。	・安心して自分の気持ちを表現できるよう配慮し、自己主張できるように言葉を掛けて促していく。 ・電話・絵本・視聴覚教材を取り入れて、イメージが広がるように促す。 ・身近な音の出るものに親しみ・機会を持つ。	・様々なものの音、色、形、手触り、動き、味、香りに気づき興味・関心を持っていく。 ・安心して自分の思いが表現できるように、子ども達の気持ちに気づいて言葉で促していく。	・感じたことを話したり、友達の話聞くことの楽しさを知らせ、伝え合う楽しさを知らせる。 ・友達との話をきちんと聞いて一緒に取り組む、協力する大切さを知らせる。	・色々なものは想像力や創造性が育つよう、子ども達の感じていることに気づいて問いかけたり、話を促す。 ・言葉への興味関心が深まるので、使い方に気を付けて関わる。	

小学校との連携	子どもの健康支援(保健計画参照)	食育の推進(食育計画参照)	環境及び衛生管理並びに安全管理	災害への備え(避難計画参照)
・小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにする。 ・認定こども園の教育・保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教師が円滑に行われるよう、小学校教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期のおわりまでに育ってほしい姿」共有して連携を図り、小学校教育との円滑な接続を図る。	年2回嘔吐菌による内科検診・年1回嘔吐菌科医による歯科検診・健康状態、発育発達状態の定期的、継続的な把握・異常が認められた時の適切な対応・フコカ物塗布(年長)	1、健康・安全など食生活に必要な基本的な習慣や態度を身に付ける。 2、食べ物への感謝の気持ちを育てる。 3、様々な人々と一緒に食べる楽しさを味わい、愛情と思いやりを育てる。 4、食べ物に興味・関心を持ってもらう。	(環境・衛生管理) 施設内外の設備、用具の清掃、消毒、安全管理及び自主点検・子ども及び職員 の清潔保持・ボラリエットの導入・オゾンだしっぴ、クリーンホープによる衛生管理 ・職員検便・空気清浄機 ・コロナウイルス感染拡大対策 (安全管理)	毎月避難訓練(火災・地震等)を実施・年1回消防署との連携訓練・防災頭巾導入・年2回の消防点検・消防省察察・交通安全

子育て支援			特色のある教育及び保育
(家庭との連携) 家庭と園で子どもの様子を連絡ノートに書いたり、送迎時に伝えあい、信頼関係を築き成長を喜び進める関係を築く。 (地域との連携) 地域子育て支援センターを開設し子育て公開講座や様々な子育て支援を行うとともに、各施設においても一時保育・園庭開放・育児相談(随時)を行い地域子育て支援を行う。保育委員、中高職体験受け入れ・職業講話を行い人材養成を支援する。母推・食推委員との連携を図る。	(研修の方針) 体系的・計画的な研修機会を確保するとともに、職員が計画的に研修等に参加し、専門性の向上が図られるようにする。 (施設長の責務) 認定こども園の役割や社会的責任を遂行するために、法令等を厳守し、保育所を取り巻く社会情勢等を踏まえ、専門性向上に努め、保育の質及び職員の専門性向上のために必要環境を確保する。 (研修の実施体制) 園内研修(公開保育)・園外研修への計画的参加・職員会における研修	(特色のある教育及び保育) 異年齢縦割り・体育教室・英会話教室・花育・足育小学校就学を意欲した子どもの心を育てるカリキュラムや行事(ひまわりの会)・太鼓(つながり隊)(その他) 川西市域だけでなく岩国市内各地の行事へ積極的に参加するとともに各種行事に地域住民や関係者を招待して交流を図る	